

## さよなら原発つくばアクション&パレード アピール

### 東海第2原発を廃炉に！

福島第一原発の過酷事故は、原発の「安全神話」を完全に吹き飛ばしました。高い技術と5重の壁と言われた安全対策を誇ってきた原子力発電所でしたが、実は使用済み核燃料や高濃度廃棄物の処理技術もなく、事故が起きた時の対処として十分な配慮も準備もなく、事故処理対策の技術もないままに運転されてきたものであることを白日のもとにさらけ出しました。その上、国も電力会社も、不都合なことが起これば、それを隠ぺいし、平気でうそを並べるものであることも明らかにしました。

この事故は膨大な放射能を撒きちらし、いまも地球上の大気を、海を汚染し続けています。今や私たちは自ら被曝しただけでなく、近隣のアジア諸国の人々をも被曝させることになりました。

こんなことはもうたくさんです。だからこそ、私たちは、この茨城県に住み、いのちを育むものとして、東海第2原発の廃炉を強く求めたいのです。操業開始からすでに33年を超えている東海第2原発は、東日本を襲った巨大地震と大津波で大きな被害を受けました。外部電源も非常用発電機も地震で破壊され、冷温停止まで3日半、まさに危機一髪の状況が続きました。その後東海第2原発は定期点検に入りましたが、点検中の今年1月までに火災事故が5件、水漏れ事故も起き、安全とは程遠い状況にあります。

東海第2原発は日本の原発の中でも最も人口超密地域にあり、原発から30km内の人口は約100万人を超え、首都圏までわずか110km程度しかありません。ここ東海で過酷事故が起これば、東京は放射能に汚染され、首都機能が失われてしまいます。

日本の原発は、茨城県東海村から始まりました。東海村には、再処理工場や高速増殖実験炉もあります。この東海村の原発を廃炉にすれば、それは必ず、54基ある日本のすべての原発を廃炉にさせる「事始め」になります。たくさんの茨城県民が手を取り合い、東海第2原発にノーを突きつけ、その廃炉をかちとりましょう。

以上、3・11から1年後に集った私たち集会参加者の意志として確認し、宣言致します。

2012年3月11日 「さよなら原発つくばアクション&パレード」参加者一同